

# 近代の衝撃と東アジアの漢詩—月性・黄遵憲・魏清徳

ゲスト講師 趙 偵 宇 さん 駒澤大学講師、19世紀後半日中台漢文学

ホスト著者 愛甲弘志 さん 『月性を読む』編著者、中国文学

日 時: 2024(令和6)年 5月12日(日) 定員先着130名様

午後1時30分開演・地元有志による詩吟と剣舞

午後2時・ゲスト講演 ～ 3時・ゲスト&ホスト対談(～3時30分頃終演)

会 場: 妙円寺本堂 (柳井市遠崎729、周囲に駐車場あり、JR「柳井港」駅から徒歩約15分)

## 講師からのメッセージ

「近代」の到来が、古典世界に生きる東アジアの漢詩人たちに大きな衝撃をもたらしました。では、彼らはいかなる反応を示したのでしょうか。日本・中国・台湾漢詩人の代表者である月性・黄遵憲・魏清徳の漢詩から、この問題を考えてみたいと思います。世界が常に変化し続けます。月性らの考え方は現代の我々にも示唆を与えてくれるかもしれません。

### 月性 1817-58

幕末日本の真宗僧。「方外の奇男子」と自称。藩政改革有志や尊王攘夷志士との交流、封事上申、民衆説法等を通じて、維新変革の‘インフルエンサー’として活躍。



ちょう・ていうさんは、京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。中国古典文学専攻。京都大学・名城大学等の非常勤講師、南山大学講師などを経て現在、駒澤大学講師。

主な著書に『觀念、分類與文類源流：日治時期的臺灣現代散文』(秀威資訊科技・2016年)。最近の主な論文に「黄遵憲と宮島誠一郎『養浩堂詩集』：明治期の漢詩創作」(『アカデミア 文学・語学編』第115号、2024年)。

日本・台湾・中国の文学に幅広く関心を持ち、研究活動を展開中。

こうじゅんけん

### 黄遵憲 1848-1905

清末中国の外交官・政治家。世界を遍歴し、日本にも四年間滞在。古典から近代へという中国詩史の過渡期に位置づけられ、漢詩の刷新者でもある。



ぎせいとく

### 魏清徳 1886-1964

植民地期から20世紀後半まで、台湾の代表的漢詩人として活躍。ジャーナリズム経験者でもあり、時事・文明・啓蒙などを積極的に漢詩に取り入れる。

あいこう・ひろしさんは、1955年生まれ。九州大学大学院文学研究科博士課程中途退学。京都女子大学教授を経て、現在、京都女子大学名誉教授。

主な著作に『貶謫と貶謫文学』(勉誠出版・2017年、共訳)、『賈島研究』(汲古書院・2021年、共編)、「月性事蹟考—坂井虎山との初めての出会いの時期について」(京都女子大学宗教・文化研究所『研究紀要』第35号・2022年)など。

なお、僧月性顕彰会ホームページに、月性漢詩に関して判明している全情報を「月性詩一覧」として掲出するとともに、個別作品について訳・注・校勘・解題等を順次掲載中。



主 催: 公益財団法人 僧月性顕彰会 <https://gessho.net>

後 援: 柳井市、柳井市教育委員会、柳井文化連盟、大島商工会・観光協会、月性立志の会

問い合わせ: 僧月性顕彰会事務局 TEL 0820-45-2211 (柳井市大島1500 柳井市役所大島出張所内)  
(濱岡、池本、神岡)

